公益財団法人 8020 推進財団

令和 7 年度　歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

１．事 業 名：子どもの虐待防止啓発事業

２．申請者名：公益社団法人　東京都歯科医師会

会長　北 村　　晃

３．実施組織： 公益社団法人　東京都歯科医師会

母子保健医療常任委員会

４．事業の概要：

地域医療を支える一次医療機関である本会会員歯科医療機関においては、虐待が疑われる子供や様々な問題を抱えた家族と比較的早い段階で出会う可能性が高く、地域一体となった支援に繋げる役割が期待されている。

歯科医療機関は、虐待や要支援家庭を早期に発見し、関係機関と連携して対応することにより、子供が死に至るような虐待の重症化を防ぎ、地域での虐待防止を担っていると言っても過言ではない。

以上のことを踏まえ、虐待防止について豊富な実績のある「社会福祉法人 子どもの虐待防止センター」との共催により、実際に心配な子供や家族が来院した時の適切な対応やその後の支援についてまでの研修会等を通じた知識の習得を目的に、会員（その他医療従事者）を対象にした研修会の開催、アンケート調査の実施を行う。また、学会・研究会への参画も行い、広く情報収集をし、都民・会員への啓発活動のための基礎資料とする。

５．事業の内容：

本会では平成 28 年度より、虐待防止について豊富な実績のある「社会福祉法人　子どもの虐待防止センター」との共催で、実際に心配な子供や家族が来院した時の適切な対応やその後の支援についてまでの知識の習得を目的に、会員（その他医療従事者）を対象にした「子どもの虐待防止研修会」を開催することとしており、令和 7 年度は 10 月 7 日（火）18 時 30 分より、オンラインのライブ配信において実施し、32 名の受講者を集めた。また後日 10 月 8 日～11 月 9 日にかけて、オンデマンド配信を行い 104 名が視聴した。アンケート調査も行い、次年度以降の開催に向けての参考とすることとした。（別添資料参照）

６．実施後の評価（今後の課題）：

令和 7 年度に開催した「子どもの虐待防止研修会」で行ったアンケート結果を見ると、ヤングケアラーや、虐待と歯科との関連や、対応法について受講者の関心が高かったことが伺える。

今までの「子どもの虐待防止研修会」では対面開催が多く、参加者が減少していたため、今年度は、オンライン（オンデマンド）配信を積極的に活用することとした。その結果、アンケートの記載内容にもあるように、都合に合わせて、繰り返し視聴可能であることに対する利便性の高さから、参加者が増加した。今後も虐待防止について歯科医師が積極的に関わっていく機運を高めるためにも、継続して研修事業を実施し、あわせて会員の歯科医師の資質向上を図っていきたい。